

特集

災害への備え、どうする？ BCPはこう作ります

近年、全国各地で自然災害が相次いで発生しています。地震による被害、豪雨による冠水・洪水等は記憶に新しく、現在、流行する新型コロナウイルス感染症もまたその1つと言えるでしょう。そのような避けられない緊急事態に遭遇した際、訪問看護ステーションに課せられるのは、スタッフを守り、組織への損害を最小限に止め、地域住民へのケアを維持させること、です。

そうした事業継続のための計画「BCP (Business Continuity Plan)」を策定する必要性を耳にしたことのある方は増えているのではないのでしょうか。では、それを訪問看護ステーションにおいてはどのような視点をもって作っていけばよいのか。本特集では、BCPの作り方の解説を通し、災害を見据えた備え方をお伝えします。

在宅ケアにおける災害・減災対策

●佐藤純

訪問看護においてBCP策定がなぜ大切か

●石田千絵

BCPをつくってみよう

- ① 人的資源 (スタッフ)
- ② 物的資源 (カネ)
- ③ 物的資源 (備蓄)
- ④ 利用者
- ⑤ 地域

●佐藤純、金坂宇将、橋爪健二、岡田理沙、江田純子

[コラム]

熊本地震の経験から

●木村浩美

災害時、訪問看護事業所・訪問看護師に期待すること

●大桃丈知

在宅ケアを継続するためにBCPを作ろう

●久保祐子

※一部変更となることがあります。

編集後記

ト イレットペーパーがなくなる、いつも食べているパスタの在庫がスーパーからなくなる……のと同じくらい？ 定期購読している雑誌が止まるのは読者の皆さんにとって不安になるのではないかと、この間、執筆くださった方々には校正期間を短くしていただいたり、印刷所の皆さんにも頑張ってもらったり(普段からですが)、保育園が休園になった娘にはYoutube漬けになってもらいながら、なんとか発行することができました(「トイレでは～紙の節約～」♪)と早速オンライン学習の成果を上げています)。ありがとうございました。……米沢

東 京都も非常事態宣言が解除。この間、生活に与える影響(主に保育園臨時休園……!)が大きくて、本を読むような時間的・精神的余裕もなかったなと振り返って思います。ただし、以前の日常に戻れるわけではなく、新しい日常の定着を目指す、とのこと。暮らしには題名なんて付いていないあれやこれもあって、それは何だと言われても口ごもってしまうわけですが、とにかく新型コロナをきっかけにそういったものたちが無くなってしまうのだとしたら、なんだか寂しい! そんな思いにふけっています。とはいえ、置いてけぼりを食うわけにもいかず、次号に向かって歩みを進めています。在宅ケアの現場のほうがよくばど、新しい考え方や判断の軸が求められているわけですね。…小池

訪問看護と介護 第25巻 第7号(通巻289号) 2020年7月15日発行(毎月1回15日発行)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2020, Printed in Japan

1部定価: 本体1,500円+税 年間購読料(税抜、送料弊社負担、年間12冊): 12,600円(冊子版) / 15,600円(冊子+電子版/個人) / 12,600円(電子版/個人)

販売・PR部: ☎03-3817-5659 社内案内: ☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室: ☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当: 小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動含む)で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。